

義捐金取次手續

慈善家の爲め送金の便を圖り本社其取次の勞を執るべし其手續は左の如し
一義捐金は一口十銭以上あるべし
一本社に於て義捐金を受取りたる時は義捐の金額義捐

者の姓名と時事新報に登録し之を以て受領の確とな
し別に受取書を差出さず
一本社へ送金の方法は郵便爲替、金子入荷状、銀行爲替等送金者の隨意なれども郵便爲替なれば府下芝口郵便局宛にし總て東京々橋區南鍋町二丁目十二番地時事新報社と受取人と記名ある可し但府下の義捐者ハ必ず現金を添へて本社へ申込みあると要す
一権災者中家を失ひ産を破と目下寢食みさへ差支へたるもの多くして義溝極めて急を要するとの名相當の金額に達し次第隨時之を取扱めて福岡縣廳より送り致配與方を請求すべし
一義捐金受取りの期日は來八月十日迄とす
一本社に達したる義捐金は二回に分ちて之を福岡縣廳に送達す第一回は本月三十一日正午まで又本社に達せし分を取締め八月一日を以て同縣廳に送り第二回は其後八月十日までに達しるものと合せて同日送達すべし

の初余は米國を去り

トルセル一氏の別荘に客たり、滞留凡そ二週間、その舟遊に倦み釣魚に倦と園林泉石の遊興も倦み獨り閑窓の下より枯坐するに當り米國漫遊中見聞の事實を推考して商賣主義の事、日米貿易の事、米國婦人の事及び其宗教の事等腹稿凡そ若干篇を得たり而して本篇先づ成るを以て即ち之を先鋒として後陣は追々繰り出すべし

凡そ西洋の人情風俗にハ概して表裏の二面あり其裏面に就て見れば笑ふ可きもの罵る可きもの甚だ多く様子あれども之を笑ひ之を罵るは無益の談なり余は先づ其表面に現はれる者を記し本邦人をして他國人の所長を知らしめんことを望むものなりおカメの欠伸を見て是れ醜しそ許するも事よ益なし、西子の顔を見て之れに倣へと云ふ即ち余の本旨あり

六月十二日 英國倫敦に於て 高橋義雄

米國雑説 一

商賣主義

古來社會變遷の有様を見るゝ何れの國よりも一時或る主義の其社會を支配して人事萬般恰も之を標準として運動するところ即ち我邦封建の時代に尙武主義忠孝主義など稱せるものありて變遷幾層人事の進退總て此主義を標準としたる如き其一例として見る可なり。抑て今試に米國の社會を見て如何ある主義が之を支配するやと尋ねるに他むし唯一の商賣主義あるのみに左て此政治學問宗教藝術其他社會萬般の事皆な此主義を離れてゐる。民の委託と受けて夫れく其事務を經營する有様は政府の手代が主人の爲りより周旋するの趣に等しく又家庭は私財實益を旨とし理化學と称するもの比寧夏新嘉坡の税金と期し法律家は古代人たらんとを因みて新嘉坡の

前記の如く米國は商賈建國の國柄なるが故に其人民の氣風も亦自から金錢に銳くして所謂逐弗奴の類も少なからず學校の教師が名と生徒の人名帖よ錄して其潤筆料を取るものあり添書を認めて錢と取り道を旅人に教えて錢を取り野外の散歩に巻烟草一本を與へたりとて其代價を友人に乞ふものさへなきに非ず之より以下極端の例を示すときは流石拜金の著者にても聊か閉口せざるを得ず或る人の評に米國人は上下貧富を押し並べて頗る honey の字を彫刻せざるものなしと云へり更に之を云ひ換ふれば米國人にして眉間にヨの字の皺よ寄せざるものあしと申すも可ならん左れば然米國に來りて卒然此氣風に接し忽ち厭惡の念と起するものあるが如くなれども利慾相伴ふは人事の自然、末流の一概を見て此氣風より成就する所の大功を忘却するは余の取らざる所あり余シラ～米國富豪者の心事と矣古光石火の如し此間内體の豪奢を買ふは數百萬金にして實に彼れ唯金鑑其物を得て然して形而下衣食住の快樂足る可無管あり即ち彼の富豪者は足るを知りて外にせざると覺るを以て畢生の目的とするものに非ず人生五十載の取らざる所あり余シラ～

の儀場に参着する内より伯とは平生の交り最も淺からぬ
或る一紳士あり當時近在に赴ひき暫らく伯より面せざる
内突然訃音に接せしかば責めてもの心遣りには葬儀の
式より參せんと其日急ひで件の寺院に赴ひき門を入らん
とする時巡査あり嚴重に守衛して猥りに出入を許さず
且會場に入らんと欲すれば入場券を示すべしと云へる
にテ紳士は事の意外に驚きながらも自分は死者は遭殃
より特別に案内を受々て會するものなれば左る用意あ
ることあしと詳しく述べたるに巡査は一切聽入
れず本日は皇帝式場に臨御ある故に入場券を所持せ
ざるものは何人たりとも入るを許すとて終に拒絕し
ヨリ次にダッヤール伯の末じん人令嬢と共に馬車に駕し
て來れるよ巡査は前の如く入場券を求めて入るを肯ん
せず左れど御者と云ひ馬車と云ひ總べ皆な伯が生前
に使用せし儘にして車中の人は現在、伯の夫人令嬢な
れば疑ふべき道理更になけれども争ふて事果つべくも
見えざれば早速警察長より其旨と通玄種々談判の末漸く
入場するを得たり又其次に來れるは府内の人の大抵知
らざるものなきヌスナエルスキーレ公女にして此も伯の
舊友なれども入場券なき故に入る能はず當惑に餘り較
や暫く其所に躊躇して時間を費し内幸にして公女の知
人なる近衛將官來りしかば事情を語り其保證によりて
漸く入るを得たり此外當日斯る迷惑を受けたもの夥多
ありて此等の人々は警察官吏の餘りにも嚴酷無情ある
と憤ること勿論なるべしと雖ども此例の如き不都合は
帝の出入する毎に屢々起る所にして警察官は實に意よ
かずする事なく虚無黨の謀計より帝と安全に守護し得
當時までも公然と市中と徘徊すること屢々なりしが今
ば他は顧みるに違あらずと云へる有様なり帝も亦自ら
謹むよと遙かに先帝の比にあらず先帝は暗殺に罹るの

國の學生は鐵道土木其他の技師さらんとし學校は恰も商賣資本の一部分なりと覺悟するものゝ如し又彼の寺院宗數の事は人生の最も高尚なる部分にして商賣に縁なきる可た筈なれ共凡そ米國の習慣として信徒が或る寺院を建立せる時は先づ其住持の給金を定めて之を或る僧侶に相談するとなり斯て其僧侶は給金の多少を見て其去就を決するとして報酬多ければ其胸に應じて往々追て他に好寺院を見出すときは衣を拂ふて之に轉するなどの場合もあり或は日曜日の法會にて坊主がしむ徒に寄賦金の多きを促し名僧一夕の説教又幾百弗の報酬を得るなどの趣は幾分か商賣主義に縁ありと云はざるを得ず又彼の美術工藝の士は何れの國にても風雅洒落の氣を存するもの多く與可竹を畫くの時、嗒然として其身を遺るとは畫家が其精神を凝らすの意にして斯道の人を束縛するとは思ひも寄らぬ次第ある可しこと雖も商賣主義の勢力は實に案外なるものにして其中を撰むに若かずと觀念するの傾なきを得ず左れば商賣主義と以て起臥するものは知らず謙らす時是れ金なりとの思想を生じて意匠の高きを弄せんよりは寧ろ潤筆料の多きを生じて忽ち其筆力を損するの恐ありとて早速本國に逃げ去りたりと云ふ亦一奇談ならずや或は去て文章に

護衛
先年虛無、當

むる所あらる可き苦なれども愈々富んで愈々勤め殆ん
其底止する所を知らざるは何ぞや商賣の國より亦自
ら商賣上の名譽あり苟も功名心を有するものは進ん
で之を爭はざるを得ず斯くて彼等が新業を起し又ハ投
機を試ひるときは成敗利鈍孰れも其面目に關するに
して商略勇斷其圖に中れば彼等商人社會にては往時
戰國尙武の世に宇治河の先陣、賤ヶ嶽の一番槍を試み
るより一般、天晴れ天下の勇商として世より其面目と生
むことなり之を商家の榮譽と云ふ文明商人の珍重す
る所なり斯くて功成り名遂ぐるのに彼れ其私財を抛
て學校を創建し或は公園を修築し書籍文庫を設立
する等公共慈惠の大事功を遺して名を後世に傳ふるは
古代戰國の帝王が戰勝て紀念碑を立て或は泰山に封
禪するの趣に異ならず而して其遺業の社會に顯はれた
る所ハ即ち文明の美觀として此美觀の來る所と問へば
亦唯商賣主義の返射より外ならざる可し思ふて此に至
るときは雖々まる乎未流の弊習は固より顧みるに暇わら
ず余は國の富強文明を目當てとして我日本國よりも大
きの商賣主義の流行すると解るものなり

非常と云ふべきなり玆又其一例を擧げんに先頃露京駐在の白耳義國大使ダッサール伯が死去してセントピータースブルグの寺院に葬儀式を執行せる時夥多緒紳の儀場に參着する内々伯とは平生の交り最も淺からぬ或る一紳士あり當時近在に赴ひき暫らく伯より面せざる内突然訃音に接せしかば責めてもの心遣りには葬儀の式より參せんと其日急ひで併の寺院に赴ひき門を入らんとする時巡査あり嚴重に守衛して猥りに出入を許さず且會場に入らんと欲すれば入場券を示すべしと云へるにテ紳士は事の意外に驚きなぐらも自分は死者に遭候より特別に案内を受けて會するものなれば左る用意あることあしと詳しく述實を陳べたるに巡査は一切聽入れず本日は皇帝式場に臨御ある故に入場券を所持せざるものは何人たりとも入るを許すとて終に拒絕しきり次にダッサール伯の夫人令嬢と共に馬車に駕して來れるよ巡査は前の如く入場券を求めて入るを肯んせず左れど御者と云ひ馬車と云ひ總べ皆な伯が生前使用せし鑑にして車中の人は現在、伯の夫人令嬢なれば疑ふべき道理更になけれども争ふて事果つべくも見文されば早速警察長より其旨と通玄體を誤判の末漸く入場するを得たり又其次に來れるは府内の人の大抵知らざるものなきヌスナエルスキー公女にして此も伯の舊友なれども入場券なき故に入る能はず當惑に餘り較や暫く其所に躊躇して時間を費し内幸にして公女の知人なる近衛將官來りしかば事情を語り其保證によりて此等の人々は警察官吏の餘りにも嚴酷無情あると憤ること勿論なるべしと雖ども此例の如き不都合は帝の出入かる毎に屢々起る所にして警察官は實に意よ介することなく虚無黨の謀計より帝と安全に守護し得ば他は顧みるに遑あらずと云へる有様なり帝も亦自ら謹むよと遙かに先帝の比にあらず先帝は暗殺に罹るの當時までも公然と市中と徘徊すること屢々なりしが今